ナイトタイムエコノミー分野でも急上昇
日本発！日本初！のロングランコンテンツが新たな展望を示す

4000回公演達成！

ART COMPLEX グループが手がける、京都で上演中の“日本発 × 日本初”のノンバーバルシアター『ギア -GEAR-』は、2023 年 4 月、ロングラン 11 周年を迎え、本日 7 月 26 日 (水)19 時公演をもって公演回数 4000 回を達成した。

国内では劇団四季の『ライオンキング』が 2022 年 12 月の時点で 13000 回以上の上演を実施しているが、国内オリジナルコンテンツとしては『放浪記』の 2017 回のロングラン記録を抜き、『ギア -GEAR-』が唯一の 4000 回超えの公演となる。
演劇の本場ブロードウェイですら、その長い歴史の中でこのようにロングラン上演を行うことができる作品は一握り。ましてや、日本国内では観劇の習慣が定着していないこともあり、この 4000 回という記録は日本演劇史に残る実績となる。
一方、演劇分野にとどまらず、観光分野でもその実績が評価され、2018 年には近畿経済産業局「関西インバウンド大賞」を受賞。アフターコロナにおいて、再び注目が高まるナイトタイムエコノミーの分野でも期待を集めている。

プロデューサーよりご挨拶

日本文化が持つ「繊細さ」は、伝統の中にだけでなく、現代にも息づいていると信じています。
技術の研磨と、感性の洗練に努め、より上質なものを目指し続けるモノづくり本来の在り方を、
ギアは 10 年以上に渡り実践してきました。
そしてこれからも、少しでも多くの方に、少しでも大きな感動を味わっていただけるよう、
愚直に公演を続けて参ります。
更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

プロデューサー　小原啓渡

お問合せ
ART COMPLEX『ギア -GEAR-』公演事務局
〒604-8082 京都市中京区弁慶石町 56 1928 ビル 3 階
TEL 075-254-6520　FAX 075-257-2125
E-mail info@gear.ac　https://www.gear.ac/

『ギア -GEAR-』とは？

日本発 × 日本初のノンバーバルシアター。

光や映像と連動したマイム、ブレイクダンス、マジック、ジャグリングによる迫力のパフォーマンスで感動のストーリーを描くと共にセリフを使わない“ノンバーバル”という演出により、小さなお子さまから大人まで、そして外国の方も言葉の壁を越えて楽しんでいただけます。

『ギア -GEAR-』は、大きさや形、色の異なる歯車が噛み合い、大きなうねりを生み出す日本独特の和の文化である「調和」をテーマとし、公演を開始。2015 年 11 月にはモスクワで 6 か月に及ぶ公演を実施。続いて 2017-2018 年には『ギア -GEAR-』East Version として千葉で 1 年 9 か月に及ぶ公演を実施。
京都では異例のロングラン公演を続け、口コミで世界中から旅行客が訪れ、連日賑わいを見せている。

■公演概要（2023 年 7 月現在）

［公演日時］

平日　　14:00/19:00 * いずれか 1 公演実施日もあり

土日祝日　　12:00/17:00

［上演時間］

1 時間 30 分

［料金］2023 年 8 月まで

一般　　S 席 6,800 円 / A 席 4,800 円 / B 席 3,400 円

小学生～高校生　　S 席 4,800 円 / A 席 3,800 円 / B 席 2,400 円

未就学児（4～6 歳）　共通 800 円　※要予約

-------- 2023 年 9 月以降は以下に改定します

一般　　S 席 7,200 円 / A 席 5,200 円 / B 席 3,600 円

小学生～高校生　　S 席 5,200 円 / A 席 4,200 円 / B 席 2,600 円

未就学児（4～6 歳）　共通 1,200 円　※要予約

［会場］

ギア専用劇場（ART COMPLEX 1928）

［主な実績］

- 「第 6 回京都文化ベンチャーコンペティション」近畿経済産業局賞受賞（2013 年）
- 「外国人に人気の日本の観光スポット」19 位にランクイン（2015 年 TripAdvisor 調べ）
- 近畿経済産業局「関西インバウンド大賞」受賞（2018 年）

アートを切り口に、新しい価値を創造する
https://www.artcomplex.net/

■グループ概要

グループ名：ART COMPLEX グループ
事業内容：コンテンツ企画・製作、劇場の運営、管理
代表者名：小原啓渡

■代表者プロフィール

大学中退後、インドとアジア諸国を放浪、東洋思想と禅を学ぶ。帰国後、技術者として舞台に関わり、歌舞伎やミュージカルなど幅広いジャンルの現場を経験した後、テクニカルディレクターとして、パリを中心に海外で経験を積む。その後、京都で近代建築をリノベートした劇場「アートコンプレックス1928」を立ち上げ、プロデューサーに転向。ノンバーバルシアター「ギア -GEAR-」のロングラン公演プロデュースの他、造船所跡地を「クリエイティブセンター大阪」に再生するなど、アートの複合（コンプレックス）と文化芸術に新しい価値を提案することをテーマに活動を続けている。

■主な経歴

2003 年　証券会社と連携し、ファンドによる第一回ロングラン公演（キュピキュピ）を開催、12%の配当を出す 2004 年 ファンド導入による 2 度目のロングラン公演（電視游戯科学舘）を開催、8%の配当を出す
京都『三条あかり景色』開催、プロジェクションマッピング事業を開始（以降 05 年、07 年開催）

2007 年　芸術創造館にてワークショップフェスティバル『DOORS』初開催（以降、2019 年まで開催 * コロナ禍で 2020 年、2021 年は中止）

2010 年　ノンバーバルパフォーマンス『ギア』プロデュース「NPO 法人ライブエンターテイメント推進協議会」を設立日本版 TKTS として当日券販売所「Todays Tickets Center」の実証実験を開始

2011 年　大阪にて『ソーシャルネットワーク大阪』開局オランダのアートスペース「NDSM」と連携事業開始（'11 年、'12 年、'13 年開催）

2012 年　京都にてノンバーバルパフォーマンス『ギア -GEAR-』ロングラン公演を開始

2015 年　『ギア -GEAR-』をロシアへ輸出、モスクワにて 6 ヶ月のロングラン公演実施

2016 年　日本初の舞踏専用劇場『舞踏館』オープン

2018 年　『ギア -GEAR-』が近畿経済産業局「関西インバウンド大賞」受賞

2023 年　『ギア -GEAR-』が日本オリジナルコンテンツでは初のロングラン 4000 回公演達成